

アクセシビリ

2016年7月1日

北星学園大学

アクセシビリティ支援室通信

第1号

こんにちは!北星学園大学アクセシビリティ支援室です。

2016年4月1日にOPENしました。

アクセシビリティ
って何だろう?



支援室は何を
している
ところ?

「アクセシビリティ」とは?

必要とする情報や資源、施設等に障害の有無などに関わらず誰もが容易にアクセスでき誰もがそれを利用できることをいいます。

「合理的配慮」とは?

障害の状態や性別・年齢などを考慮した変更や調整、サービスを提供することです。

「支援室」は・・・

2016年4月1日に施行された「障害者差別解消法」*を機に開設されました。

合理的配慮に基づいて、障害やその他の理由で困難を感じている方たちの相談に応じること、先生方や学内各部署と連携を取って支援をコーディネートすること、支援学生を育成すること等を業務としています。また施設設備など学習環境やユニバーサルデザインなどについても検証していく予定です。*障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

～支援室スタッフの紹介～

支援室室長

田実潔先生

支援教員

佐藤祐基先生

コーディネイター(CSW)

北野麻紀・・・支援室専従スタッフです。(CSW=キャンパスソーシャルワーカー)

コーディネイター(事務)

鮫島志穂・・・支援室専従スタッフです。

(教育支援課事務職員

五郎部典子/尾形亜由美)

—開室時間—

(平日) 8:45-11:30
12:30-17:00

—受付窓口—

- 現在は教育支援課③窓口です。
- プライバシーに十分配慮し、希望があれば面談時には個室を使用します。

—連絡先—

窓口のほか、電話やメールでも相談を受付しています。お気軽にご連絡ください。

電話:011-891-2731(代表) mail: acc-support@hokusei.ac.jp

パソコンノートテイク を知っていますか？

今回は、合理的配慮に基づき行っている支援をひとつご紹介します。

★「パソコンノートテイク」

聴覚障害のある方が視覚的な補助手段から情報(授業内容等)を得られるようサポートする方法です。

○ 授業中、このような様子を見たことがありますか？



○ どのような方法で？

情報保障者(ノートテイク者: NTと呼んでいます)がパソコンを使用して授業中の音情報(先生の話や学生たちとのやりとり等)を入力していきます。聴覚障害のある方が横に座って、パソコンの画面を見るという方法です。本学では連係入力を取り入れ、NTが二人一組で行っています。一人だけで打ち込むのではなく聞こえてくる文章のうち、前半を一人目 NTが後半を二人目 NTが打ち込み協力して文章を完成させていきます。

!!ノートテイク者のスキルアップ講習会!!

2016年前期は主に17名の学生がサポートしています。
定期的に行われる講習会に適宜参加し、スキルを磨いています。



スキルアップ講習会の様子。

NTのみなさんは、

- 1) 講義内容を聞きながらポイントをおさえ、
 - 2) 互いの入力を見て文章が繋がっているか確認しながら高速で入力しています。
- ・「聞く、理解する、文章化する」を瞬時に判断し連続して繰り返します。
 - ・日本語だけでなく英語テイクさんもあります。

☆NT 随時募集中☆

興味のある方、ご連絡お待ちしております!

何かしらの支援があれば上手くいくかも…。
その他、障害やその他の理由で困難に感じている方、
まずはお気軽にご相談ください。

